



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

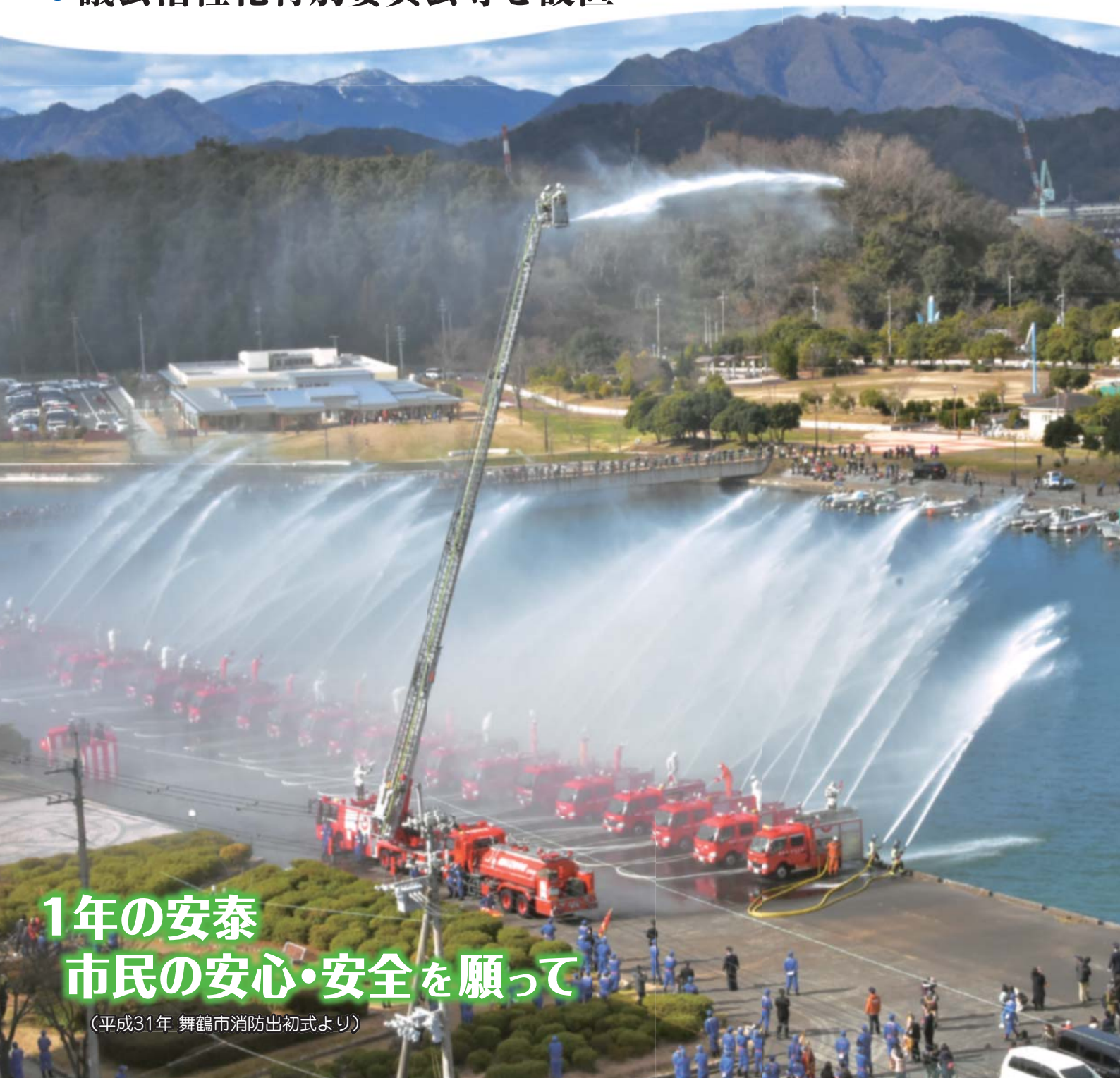
No. 162

平成31年(2019)
1月31日

主な内容	12月定例会のあらまし	2
	一般質問	2
	各会派討論の内容	7
	議会基本条例実行計画の概要	8
	常任委員会の審査報告	8
	議案の採決結果	10
	意見書	12
	3月定例会予定	12
	編集後記	12

- 平成30年度補正予算を可決
- 各施設の指定管理者の指定について可決
- 議会活性化特別委員会等を設置

議会だよりはこのコード
からご覧いただけます。



1年の安泰
市民の安心・安全を願って

(平成31年 舞鶴市消防出初式より)

12月定例会のあらまし

●平成30年7月豪雨および台風24号の災害により被災した施設等の復旧に係る事業のほか、構造上危険なブロック塀の改修など平成30年度一般会計補正予算3億7500万円を可決。

平成30年舞鶴市議会12月定例会は12月5日に開会。12月27日までの23日間開催し、市長から提案された平成30年度一般会計補正予算、条例の一部改正、人事案件、議員提案の特別委員会の設置、意見書などの31議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

平成30年 舞鶴市議会12月定例会一般質問 平成30年12月13日、14日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	2分割	松田 弘幸	1 舞鶴市総合計画について	2 リース方式について
			3 魚の街舞鶴について	
2	2分割	今西 克己	1 市政運営について	2 加佐地域農業農村活性化センターについて
			3 府道西神崎上東線の整備について	
3	一問一答	伊田 悦子	1 市長の市政運営について	
			2 「平和産業港湾都市」の市是を生かしたまちづくりについて	
			3 子育て環境の整備について	4 避難所の点検について
4	2分割	高橋 秀策	1 来期の市政運営について	2 次期総合計画について
			3 教育について	
			4 市役所における効果的・効率的な運営について	
5	一括	鴨田 秋津	1 第7次舞鶴市総合計画(案)について	2 災害時の対応について
			3 ウズベキスタン共和国オリンピック選手団の受け入れについて	
6	一括	杉島 久敏	1 自主防災組織について	2 舞鶴市内の土砂災害復旧及び対策について
			3 避難所備蓄品について	4 バスシェルター設置の整備状況について
7	一括	仲井 玲子	1 クルーズ客船の寄港によるまちの賑わいについて	
			2 地域の高齢者の方を支えるコミュニティづくりについて	
8	一問一答	小西 洋一	1 学校の特別教室へのエアコン増設について	2 給食費及び修学旅行費の無償化について
			3 教育現場での働き方改革について	4 「夢チャレンジテスト」について
9	一問一答	肝付 隆治	1 第7次舞鶴市総合計画(案)について	
			2 赤れんが周辺等まちづくり事業について	
10	一括	田村 優樹	1 「これからのまちづくり」について	2 社会基盤整備について
			3 企業を取り巻く環境について	
11	一括	野瀬 貴則	1 公衆無線LAN(Wi-Fi)について	2 小中学校におけるICTの活用について
			3 台風被害の復旧状況について	4 自治体業務の効率化・省力化について
12	一括	石束 悦子	1 原発ゼロを目指すことについて	2 温かい中学校給食の実現について
			3 利用しやすいバス、タクシーによる地域活性化について	
			4 漁業法の改悪について	
13	一括	伊藤 清美	1 京都府北部連携都市圏「北の京都」七つ星プロジェクトについて	
			2 ホストタウンとしての取り組みについて	3 2020東京五輪聖火リレーの誘致について
			4 南舞鶴地区通学路等の交通安全対策について	
14	一括	西村 正之	1 神崎煉瓦ホフマン式窯築について	2 大和紡績跡地について
			3 海軍・引揚ゆかりの港めぐり遊覧船について	4 かんぼの宿舞鶴について
15	一括	田畑 篤子	1 在宅療養の医療的ケア児の支援体制について	
16	一問一答	小杉 悦子	1 災害復旧事業について	2 防災対策について
			3 地域医療の確保について	4 国民健康保険事業について
17	一括	川口 孝文	1 道路整備について	2 志楽川の整備について
			3 安岡地区の浸水対策について	
18	一括	鯛 慶一	1 東市街地の浸水対策について	2 子供の医療費助成について
			3 平成29年度決算について	4 市民との協働による道づくりについて
19	一問一答	眞下 隆史	1 成人式の考え方について	
			2 平成30年11月18日執行舞鶴市議会議員一般選挙の投票率低下について	

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

12月13日、14日に本会議を開き、19人の議員が一般質問を行いました。

質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

次期舞鶴市総合計画に かける市長の思い



公明党議員団
松田 弘幸

質問 この8年間、安定と確かな成果を上げた市長に引き続き市政運営を担ってほしい。次期総合計画にかける市長の思いを聞く。

答弁 実績・成果を基礎として、市民と行政がともに未来に向け「ひとづくり」「まちづくり」に取り組み、「未来を拓くまち」を目指し、引き続き経済人口10万人を目指す。

LED照明をリース方式で

質問 他市では、事業費負担を複数年度に分散・平準化する手法として道路照明リースの活用がされ経費も削減されているが本市で

の活用の考えを聞く。
答弁 器具の種類や工事費、電気代、耐用年数、リース料金などを比較し、検討する。

府道西神崎上東線のかさ上げ改良促進は



新政クラブ議員団
今西 克己

質問 府道西神崎上東線の油江地区の約500㍍の区間は、道幅も狭く低地帯であり、強めの降雨があるときに冠水する。豪雨の時には、油江、神崎地区が2日間も孤立するという異常事態が慢性的に発生している。地元住民の皆さまの生活を守るため早急なかさ上げが必要である。本市の考えを問う。

答弁 この区間の地形的な特性から未整備区間の9割は由良川の

堆積物による軟弱地盤の層であり、盛り土をすることによって軟弱地盤全体が鉄道敷とともに川の方に変位する恐れがある。今後、府において再調査が行われ工法の再検討がされると聞いており、市としても要望していく。

経営感覚の市政運営で暮らしは守れない



日本共産党議員団
伊田 悦子

質問 自治体の本旨は、住民福祉の増進を図ることだ。市長のようには経営感覚を市政に持ち込めば、サービス低下を招き、自治体の存在意義はないと考えるがいかがか。

答弁 市民の安心・安全を守り、住みやすい、住んで良かったと思えるまちづくりに努

めるのが行政の根幹的使命と考える。

子どもの医療費助成拡充を

質問 知事は、子育て支援医療費助成の拡充の必要性を感じ、府では検討が始まった。府の制度拡充を待つのではなく、先行して拡充する考えはないか。

答弁 府において、拡充内容が決定した場合、府と連携して事業を実施していく。

学力向上のため教員の先進地派遣を



創政クラブ議員団
高橋 秀策

質問 子どもたちが将来の夢や目標をかなえるためには、確かな学力を身に付けていくことが大変重要である。来年度も継続して、先進的な取り組みを本市

の教育に積極的に取り入れるべきと考える。秋田県教育委員会への教員の派遣状況や来年度の取り組みについて問う。

答弁 昨年度までの2年間は福井県独自の教育方針や手法などについて学び、授業の受け持ち方針の変更など、見習うところは積極的に取り入れている。秋田県へは中学校教員1名を派遣し、「探求型授業」など学力向上に係るさまざまな研修を行っている。来年度も引き続き派遣できるよう検討している。

JR西舞鶴駅周辺の開発を問う



会派に所属しない議員
鴨田 秋津

質問 第7次舞鶴市総合計画(案)の中で、

舞鶴版コンパクトシティを推進する一環としてJR東舞鶴駅・西舞鶴駅周辺への都市機能の誘導によるまちなかの再構築が掲げられている。現在、西舞鶴駅の東口には大規模な未利用地を有しているが、新たなライフスタイルの発信拠点として、診療所やデイサービスなどを併設した高齢者向け集合住宅の誘致など、空き地利用の計画について進捗を問う。

答弁 民間活力の導入および公的活用両面において、事業者のニーズや市場の動向、また公的施設の在り方などさまざまな視点から調査研究を進めており、重要な取り組みとして積極的に進める。



12月13日、14日に本会議を開き、19人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

災害時の活用に便利な
乳児用液体ミルク



公明党議員団
杉島久敏

質問 厚生労働省は乳幼児用液体ミルクの国内流通に向けて、11月に規格基準を定めた改正省令を施行し、国内での製造・販売が解禁された。これにより災害時における活用が注目されている。粉ミルクから、避難所の備蓄品、支援物資としても利便性の高い液体ミルクへの変更に、本市の考えを問う。

答弁 本市では、災害時備蓄品として粉ミルクを備蓄している。災害時備蓄品、救援物資として、液体ミルクが有効であると認識はしている。今後、衛生面や安全性に関する情報

報収集を図り、保存期間、価格面を考慮した上で、災害時の備蓄物資とすることを検討していく考えである。

おもてなしのまち
舞鶴へ向けて



新政クラブ議員団
仲井玲子

質問 年々香港数が増えているクルーズ客船に対し、舞鶴市民の関心を高め、おもてなしの場へどんどん出てきてほしいと考える。引き揚げの際にみられたように、もともとのおもてなしの思いの強い舞鶴市民のポテンシャルを引き出す取り組みをしてはどうか。

答弁 訪れる人にとって、地元市民の温かみに接することは、旅行先での印象として鮮明に残り、また訪れ

学校の特別教室、
体育館にエアコンを



日本共産党議員団
小西洋一

質問 学力向上のため、小中学校の図書室等の特別教室にエアコンの増設を。大規模災害時の避難所にもなる体育館へのエアコン設置が必要。いかがか。

答弁 校舎の老朽化対策や設備の更新を優先するため、現時点では考えていない。

てみたいという機会につながる。既存のクルーズサポーター制度をさらに発展させるとともに、クルーズ客船の寄港スケジュールをSNSなどで積極的に発信し、多くの皆さまと一緒に頑張って歓迎ムードの熟成に努める。

防衛省のまちづくり
支援事業の目的は



創政クラブ議員団
肝付隆治

質問 京都府北部地域の一大観光拠点を目指す赤れんが周辺等まちづくり事業が、当初予算30億円、10年計画で来年度から始まる。この事業は防衛省の補助事業で、75%と高い補助率になっているが、支援の目的を問う。

答弁 まちづくり支援事業は、自衛隊員等と住民の文化交流または防災等の活動促進を企図したまちづくりを行う場合、国からの補助が一部受けられ、防衛施設に対する住民理解を深めることで、周辺地域との調和を図ることを目的としている。赤れんが周辺等まちづくり事業は、観光拠点として整備するだけでなく、広域防災拠点としての機能を高める整備も兼ねている。

地域経済と
確かな情報を問う



会派に所属しない議員
田村優樹

質問 市長は、行財政改革や地域経済の活性化は予算の削減や縮小をすることなく計画的にやっていると言われるが、実態は違う。自治会振興交付金や福祉団体等への補助金を削減。各部署の予算を昨年度比で約7億2000万円縮小。経済政策も、交流人口283万人、経済人口9万8500人まで来たと言われるが、税収減の実態をどう説明するのか。企業・市民への情報は確かであるのか、市の認識を問う。

答弁 京都舞鶴港を生かした物流・人流の拡大、観光振興などを推し進めてきた。こうした取り組みが、本市産業の振興、ひいては地域経済の活性化に寄与していると考ええる。



12月13日、14日に本会議を開き、19人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

無料Wi-Fiの更新と
施設の増加を



新政クラブ議員団
野瀬 貴則

質問 市内で誰でも利用できる無料Wi-Fiは、市民サービス強化と交流人口増加に寄与する重要なサービスである。情報格差による不利益の解消や、電話・通信が使えない非常時での代替え手段としても重要である。本市においては設置場所が少なく、機器が古く利便性が悪い。そこで利用者数の現状と、今後の機器更新および施設増加の予定を問う。

答弁 利用者数は年々増加しており昨年度は月平均5029人で、今年度はそれを大きく上回る予定である。市として場所の増設は

予定していないが、最新機器への更新を今年度計画しており、より快適にご利用いただけるよう対応していく。

安定ヨウ素剤の
事前配布を



日本共産党議員団
石束 悦子

質問 甲状腺がんを防ぐため、医師の診察を受け、安定ヨウ素剤を事前配布するべきでないか。

答弁 今年度から医療機関への分散備蓄をしたが、市民への事前配布はしない。原子力規制庁で検討すると伺っており、注視する。

漁業法の改悪撤回を

質問 漁業法の改悪が国会で強行採決された。大企業には有利だが、日本の漁業の94%

を占める小規模漁業者の漁業機会を奪うものだ。国に対して改悪された漁業法の撤回を要請すべきでないか。

答弁 わが国の水産業の振興を図る改正と認識し、国に対して意見を言うことは考えていない。

南舞鶴地区の交通安全
対策を問う



創政クラブ議員団
伊藤 清美

質問 用地買収が済んだ和泉通りでは、未利用地が多く見受けられる。この空き地を利用して、仮舗装の歩道等を整備し、歩車道分離を図ることで安全に通行可能な道路が確保できると考える。また、長年、通学路の改善が求められてきた与保呂地域の通学路について、

管坂川に新たな歩道橋を設置し「人優先、児童優先」の安全で安心なまちづくりを進める考えはないか。

答弁 和泉通線については、来年度から仮歩道の整備を予定し歩行者の安全確保に努め、また、与保呂地域の通学路については、簡易構造の橋の新設を府と協議し、子どもたちの安全で安心な通学路の確保に努める。

神崎煉瓦ホフマン式
輪窯について問う



会派に所属しない議員
西村 正之

質問 神崎煉瓦ホフマン式輪窯とは、ドイツ人のホフマンが発明し、れんがの大量生産に適した、連続してれんがを焼くことができる窯のことである。国

の重要文化財である赤れんが倉庫群など海軍施設へれんがを供給したホフマン式輪窯も国の登録文化財であり、貴重な文化遺産と考える。このホフマン式輪窯に対する市のこれまでの取り組みと今後の活用について問う。

答弁 平成22年度から国・府・市による支援のもと、管理団体により大規模な保存修復が行われ、平成25年度に一定の保存修理が完成している。今後についても、公益財団法人が適切に管理されるものと認識している。

「医療的ケア児」の
避難態制を問う



新政クラブ議員団
田畑 篤子

質問 一刻も早い安全・安心な災害時避難

態制の完成が必要。整備の現状と受け入れ施設との連携を問う。

答弁 舞鶴医師会および関連団体と連携を図り、優先度を考慮した避難個別計画の充実を図り、生命と安全確保に努める。受け入れ施設側とは、あらかじめ受け入れ態勢を定め、連携を図る。

医療ケアごみの処理方法は

質問 リサイクルプラザへの直接持ち込みから、一般収集に変更できないかを問う。

答弁 国・京都府・医療機関などから情報収集し、実態を把握の上、危険性のある物を除いた医療的ケアで発生する廃棄物の排出方法は検討する。



12月13日、14日に本会議を開き、19人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

市民の願い生かす
災害復旧・防災事業を



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 台風18・21号、30年7月豪雨での、災害復旧事業の進捗状況と復旧に時間を要している要因を問う。

答弁 市道榎五老岳線、舞鶴親海公園が今年度中の完了に向けて工事中で、他は完了している。7月豪雨では、土木・農林災害を合わせて国の補助対象58カ所のうち、査定を受けて22カ所の工事を発注し、他も発注準備を進めている。

質問 加佐地域の通行止めになっっている三ヶ所の復旧見通しを問う。

答弁 上漆原地区は、31年1月中に片側通行

で開通。三日市地区も31年4月下旬に片側通行で開通。真壁峠は、31年内の全面開通を目標としている。

国道27号青葉トンネルの改良を問う



創政クラブ議員団
川口孝文

質問 青葉トンネルは、舞鶴市と福井県高浜町を結ぶ唯一の幹線道路であり、両地域間の通勤、買い物等、生活にとって極めて重要な路線であるが老朽化の上、トンネル内にカーブがあり、道幅は狭く歩道もない。歩行者、車両が安全に通行できるよう改良の必要がある。高浜町、福井県との連携も含め、要望活動等の進捗状況、事業化の見通しを問う。

答弁 市としても早

災害時の東市街地の排水について問う



新政クラブ議員団
鯛慶一

質問 大規模災害時には東市街地で浸水の被害がある。愛宕地区で志楽川の逆流が見受けられ、側溝から噴水のように水が吹き上がり、その水が道路を走り愛宕下町方面に流れる。住民の皆さんは、増水ごとに不安に思い、子どもたちが被害に遭わないか心配している。

期整備が必要と考えており、市長、市議会、商工会議所とともに、国や京都府に要望を行ってきた。また、早期事業化を目指し、市長と高浜町長が京都府に赴き地域の声を伝え続けている。今後とも引き続き要望を行う。

答弁 京都市と舞鶴市が現地調査や検討会を実施し、その結果、排水口が低い箇所や外水の逆流、内水の排水不良など確認した。京都府と連携し、浸水メカニズムの検証を進め、来年度から東市街地への逆流防止対策などに鋭意取り組む。

選挙の投票率低下に
歯止めが必要



新政クラブ議員団
眞下隆史

質問 今回の舞鶴市議会議員選挙は、史上最低の投票率となった。興味を得られなかった議会に一番の責任があり、議員として大きな危機感を持ち、今後、

浸水対策には逆流防止対策が必要と考えるが、今後の取り組みを問う。

議会が投票率向上を目指し取り組むべきと考えている。20期の議員では議会活性化特別委員会を全員賛成で立ち上げ、議会を活性化し、市民の皆さんに興味を持っていただく活動をしていく。投票率の目標数字を掲げ、議会・

市と共同して取り組む考えはないか。

答弁 選挙管理委員会としては、有権者が政治や選挙に関心を持ち、主権者として一票の権利を行使いただけるよう、地道に推し進めることが投票率向上の方法と考えている。

議会を
傍聴して
みませんか

議会は誰でも
傍聴することができます。

お問い合わせは
市議会事務局へ

☎66-1060



ホームページからライブ中継と録画の映像もごらんいただけます。

舞鶴市議会

検索



12月27日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討論

市民が安全・安心できる
積極的な事業を



公明党議員団
小谷 繁雄

上程された全議案に賛成する。
平成30年度一般会計補正予算の中で、保育所における重大事故の発生を未然に防止する安全対策を評価する。また、保育士の確保については課題もあるが継続した支援に期待する。さらに、民間施設のプロック塀の除却費を支援する事業と小中学校のプロック塀等の改修・撤去の事業のほか、緊急対策として通学路のプロック塀等の総点検・調査を実施し、危険がある

箇所を早急な措置に対し評価する。
平成30年7月豪雨、9月に発生した台風24号によって被災した施設等の災害復旧工事については、農業生産活動の維持と農業経営の安定を図るものであり、早期の復旧に向けた支援に期待する。

災害復旧をはじめとする防災・減災対策は、市民にとって一番の関心事であり、いまや社会の主流の政策となっている。防災意識を高める教育についても重要な課題であり、より積極的な事業の推進を願い、賛成する。



安心で安全な通学路

災害復旧を含む健全な
財政運営予算



新政クラブ議員団
眞下 隆史

平成30年12月定例会に上程された全議案に対し、市長の思いが詰まった予算計上と理解し賛成する。第95号議案平成30年度一般会計補正予算の農村移住・交流促進事業は、移住・定住希望者の増加に伴うもので、市長の思いである「住み続けたいと思えるまち、人が集い魅力あるまち」を推進するものである。そのほか、自治体の宝である保育園児や小中学校生徒の安全を守るため、重大事故につながる危

険性を排除するための事業を高く評価する。公共施設案内予約システム改修経費は、利便性を向上させる事業であり「多様な連携のもと、持てる資源を効果的に活用するまち」を推進するものであり評価する。災害復旧事業が多い中、自治体の健全な財政運営を考慮しながら、国・府の支援を適正に受け取り組まれている。また、今後舞鶴市が持続可能な自治体であるよう、そして将来が明るく発展していくための予算配分と理解し賛成する。



使いやすい公共施設を目指して

市民の願いに応え
負担増はやめるべき



日本共産党議員団
小杉 悦子

24議案中4議案に反対する。
人事院勧告に基づいた、職員の給与改定等の人件費補正の中には、特別職・議員の期末手当の増額分が含まれている。人事院勧告は、一般職員とは給与が高い特別職のものではない。特別職の市長等や議員の期末手当を増額する補正予算と条例改正に反対する。「財政が厳しい状況」と市民の切実な要望には冷たく、一方、自らの期末手当の増額では、市民の暮らしの実態に目を向けない姿勢の現れだ。市職員が市管理の土地にマイカーを駐車する

場合、駐車場代を新たに徴収することは実質給与の引き下げになる。市民に対しての有料化も含め、将来的には受益者負担の方針で駐車場の在り方を検討するとの答弁は、市民負担が増えることから認められない。

公共事業は防災重点で

度重なる自然災害の被害を受けている本市では、公共事業の在り方は、老朽化対策や防災を重点にし、地元業者の育成や仕事づくりをすべきだ。



市民参加の市政を

12月27日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。
本会議において付託された議案を4常任委員会において審査しました。
予算決算委員会(付託議案5件)

討論
常任委員会の審査報告

**財政規律を守り
市民サービスの充実を**

創政クラブ議員団
山本治兵衛



上程された全議案に
対し賛成する。

平成30年度は舞鶴市
が行財政改革をさらに
進めたこともあり、当
初予算から執行に当
たっては厳しく精査さ
れてきたが、今定例会
に上程された補正予算
は国や府からの財源も
確保され、かつ災害復
旧費など市民に
必要なサービス
が計上されており、特
に災害復旧費を
はじめとして防
災の観点から、
大阪府北部地震
から問題となっ
たブロック塀の
撤去に関する補
助やため池対策の調査
費用など安心・安全の
ために予算措置がされ
ている。また、公共施
設の利用料改訂に伴っ
て市民の利用しやすい
環境を整備するための
システム改修経費が計
上されている。さらに
子どもを安心して育て
る環境整備のために市
内各保育園への整備費
が計上されており、市
民に施策効果のある補
正予算である。今回の
補正予算では市内の保
育園を対象にした子育
て支援であるが、今後
は各幼稚園に対しても
同様の施策を展開され
たい。



収入と支出のバランスが重要

議会基本条例に関する実行計画を策定

平成30年10月5日に
制定した舞鶴市議会基
本条例には、議会及び
議員の活動原則や市民
と議会との関係など、
議会に関する基本的な
事項を定めています。
このたび、条例に定
めた内容を実現するた
めの具体的な取り組み
について、議員の任期
4年間で計画期間とし
た「実行計画」を策定
しました。
実行計画には、「市
民に開かれた議会」
「議会機能の充実」
「効率的・効果的な議
会運営」の3つの基本
目標に沿って「親しみ
やすく身近な議会」な
ど目指しています。
この計画に基づいて
さまざまな取り組みを
行い、よりよい議会を
目指してまいります。

舞鶴市議会基本条例 (平成30年10月5日制定)
具体的な取り組みに関する計画 (平成30年12月26日策定)

第20期舞鶴市議会基本条例実行計画

- 1 市民に開かれた議会**
 - ① 親しみやすく身近な議会
 - ② 正しく理解され信頼される議会
- 2 議会機能の充実**
 - ① チェック機能が充実した議会
 - ② よりよい政策を生み出す議会
- 3 効率的・効果的な議会運営**
 - ① 効率的な運営を行う議会
 - ② 効果的な運営を行う議会



舞鶴市議会基本条例や実行計画は、
市議会ホームページで見ることが
できます。

予算決算委員会の主な審査内容

30年度補正予算

公共施設案内予約シ
テム改修経費

Q 市民にとって何が
変わるのか？

A 今回当日払いを可
能としたことから、利
用日までの数回にわた
り利用日が近づいてい
る旨をメールで通知す
る機能を追加しサービ
ス向上を図るもの。

平成30年7月豪雨被災
地支援経費

Q 「災害時における
旧軍港市相互応援に関
する協定」に基づき派
遣される職員の給与以
外の手当などは？

A 時間外手当も含め
全て支給されており、
毎週ではないが、帰鶴
する旅費も支給されて
いる。

民間建築物耐震改修等
推進事業

Q 民間施設ブロック
塀等緊急安全対策支援

事業の実施箇所は？
A これから事業を周
知し、1月以降に、公
募により実施箇所を決
めていく。

Q 予定している件数
は？

A 予算は4件で計上
しているが、来年度も
引き続き実施する予定
と京都府から聞いてい
る。

施設整備事業(小学校・
中学校)

Q 大阪府北部を震源
とする地震の際に安全
性が問題となったブ
ロック塀について、今
回の整備内容は？

A これまでに、市内
全小中学校を対象とし
て応急的な安全対策を
実施してきたが、構造
診断や配筋状況などの
2次診断の結果、基準
不適合な箇所が特定で
き、ブロック塀などの
改修や撤去、フェンス
の設置を実施するもの。

本会議において付託された議案を4常任委員会において審査しました。
 総務消防委員会(付託議案5件)、産業建設委員会(付託議案7件)、市民文教委員会(付託議案7件)

常任委員会の審査報告

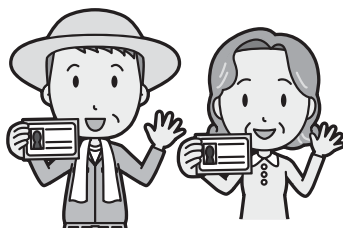
総務消防委員会の主な審査内容

舞鶴市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

生活保護法及び国の命令が改正されたことに伴い、市役所の中で、他の部や課が管理する特定個人情報の提供を受けて利用する「庁内連携」と、舞鶴市の中でも市長部局と教育委員会といった異なる執行機関の間における「特定個人情報連携」に関する改正を行うもの。

Q 現在どのような事務で個人情報の連携が行われているのか？

A 老人の医療費助成、知的障害者の療育手帳の交付、市民税の課税に関する事務等で庁内での情報連携を行っている。



Q 使用料減免の要件は？

A 身体障害者等が減免の対象となる。

指定管理者の指定について
 (舞鶴市商工観光センター)

当施設は、商工業・観光等の地域産業の振興を図り、地域の活性化に寄与することを目的に平成10年に建設されたものであり、公募の結果、舞鶴商工会議所から申請があり、候補者に決定したものの、

Q 自主事業の内容は？

A 市内高等教育機関等と連携して、ものづくり舞鶴を体験できる

イベントを計画されている。

指定管理者の指定について
 (舞鶴市勤労者福祉センター)

当施設は、勤労者の交流と研修、福祉の増進と向上を目的に、昭和54年に設置され、平成26年に旧市民病院南棟に移転したものであり、公募の結果、舞鶴勤労者福祉協議会から申請があり、候補者に決定したものの。

Q 自主事業の内容は？

A 勤労者の健康講座などのセミナーを中心に計画されている。

市民文教委員会の主な審査内容

指定管理者の指定について(青葉山ろく公園(グリーンスポーツセンター、パターゴルフ場、多目的広場等))

当施設は昭和56年に市民の余暇活動の充実を図る場を提供するとともに、野外活動・体験活動を通じて青少年の健全育成に寄与することを目的として、グリーンスポーツセンターを設置し、以降、パターゴルフ場等の施設も整備したものであり、一般財団法人舞鶴市スポーツ協会から申請があり、候補者に決定したものの。

工事請負契約の変更について
 (仮称舞鶴こども園整備工事)

園庭の整備工事を実施するに当たり、調査の結果、必要となったグラウンドの排水不良を改善するための路盤改良や、園庭遊具の設置場所の確定に伴う築山設置と樹木の移設に260万640円の増額となるもの。

Q 工事の変更により計画に影響はないのか？

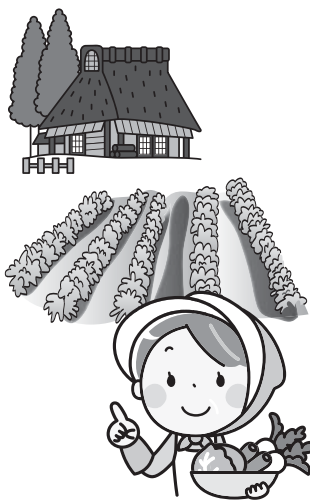
A 園庭整備については平成31年1月末に完了予定。その後、遊具の設置は、2月に完了の見込み。予定どおり4月からこども園として開園できる。

産業建設委員会の主な審査内容

舞鶴市滞在型農林体験実習施設条例の一部改正について

当施設は、農林業従事者を確保・育成し、当該地域の活性化を図ることを目的に短期中期

の滞在実習施設として平成13年4月に西方寺地内に設置したもので、5年の指定管理期間の満了に合わせ、施設の管理を効果的・効率的に行うため、市の直営施設に移行するもの。



Q 一般財団法人舞鶴市スポーツ協会は、どのような団体か？

A 市内にあるさまざまなスポーツ団体が加盟している協会である。



12月定例会の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。
 この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。
 この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しています。



全会一致で可決・同意したその他の議案

- 指定管理者の指定について（舞鶴市商工観光センター）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市勤労者福祉センター）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市農業公園）
- 指定管理者の指定について（舞鶴親海公園）
- 指定管理者の指定について（舞鶴自然文化園）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市西市民プラザ）
- 指定管理者の指定について（青葉山ろく公園（グリーンスポーツセンター、パターゴルフ場、多目的広場等））
- 指定管理者の指定について（舞鶴市大丹生コミュニティセンター）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市総合文化会館及び舞鶴東コミュニティセンター）
- 指定管理者の指定について（青葉山ろく公園（陶芸館））
- 指定管理者の指定について
 （東舞鶴公園、舞鶴文化公園、泉源寺公園、前島みなと公園、伊佐津川運動公園及び舞鶴東体育館）
- 工事請負契約の変更について（（仮称）舞鶴こども園整備工事）
- 公有水面埋立てに関する意見について
- 監査委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	仲井玲子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	議決をした日
新政	新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無党派	無党派	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	12月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	12月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	12月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	12月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	12月27日

☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

議案の採決結果

(平成30年12月定例会) 会期:12月5日~27日

全会一致で可決した予算案

- 平成30年度一般会計補正予算(第5号)
- 平成30年度国民健康保険事業会計補正予算(第4号)
- 平成30年度介護保険事業会計補正予算(第3号)
- 平成30年度後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)



全会一致で可決した条例議案

- 滞在型農林業体験実習施設条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の給与に関する条例及び舞鶴市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 旅費条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決した議員・委員会提出議案

- 議会活性化特別委員会の設置について
- 第7次舞鶴市総合計画に関する調査特別委員会の設置について
- 原子力防災・安全等特別委員会の設置について
- 下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書の提出について

賛否が分かれた議案

議案名		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西克己	上野修身	鯛慶一
								新政	新政	新政
市長提出議案	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○
	平成30年度一般会計補正予算(第6号)	25	24	20	4	0	可	○	○	○
	舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	25	24	20	3	0	可	○	○	○
	舞鶴市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○
議員提出議案	舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○

【会派】

新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、無会派…会派に所属しない議員

意見書、編集後記 3月定例会予定

意見書

12月定例会では、「下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書」1件を全会一致で可決しました。その内容は次のとおりです。

舞鶴市では、昭和35年から下水道管渠の整備に着手し、昭和44年に供用を開始した後も、未普及解消のための下水道管渠の整備を進める一方、経年劣化に伴う管路の破損による道

路陥没や水処理施設の故障による市民生活への影響、公共用水域の汚濁等の被害を未然に防止することを目的に、国庫補助制度を活用する中で、計画的に施設改築を進めている。しかしながら、国の財政制度等審議会においては、下水道事業については、受益者負担を原則として、施設改築に係る国の財政支援を見直す必要があるとの提言がなされ、国の平成30年度予算では未普及解消と雨水対策に重

点配分がなされたところである。今後、老朽化した下水道施設の改築に係る国庫補助が削減又は廃止されることとなると、大幅な使用料の値上げや膨大な一般会計からの繰り入れを余儀なくされるなど、計画的な改築が困難となり、市民生活に重大な影響を及ぼす極めて深刻な状況であると受け止めている。

下水道は高い公共性を有する社会資本であり、水質汚濁防止法は国の責務が明記されている。また、その国庫補助は、地方財政法上、国が義務的に支出する負担金として整理されており、下水道を支える国の責務は、施設の新設・改築で変わるものではない。よって、国におかれ

特別委員会を 設置

12月5日・14日の本会議において、次の3特別委員会を設置しました。

- ①議会活性化特別委員会
- 目的 議会の活性化に関する調査・研究
- 委員数 9人

②第7次舞鶴市総合計画に関する調査特別委員会

- 目的 第7次舞鶴市総合計画に関する調査
- 委員数 26人
- ③原子力防災・安全等特別委員会
- 目的 関西電力高浜発電所等に係る原子力防災および安全性についての調査研究・審査
- 委員数 8人

3月定例会予定

※予定は変更することがあります。

2月

- 20日(水) 本会議(開会)
- 21日(木) 総合計画に関する審査特別委員会
- 25日(月) 総合計画に関する審査特別委員会
- 27日(水) 本会議

3月

- 5日(火) 請願受理締切
- 8日(金) 本会議(代表質問、一般質問)
- 11日(月) 本会議(一般質問)
- 12日(火) 本会議(一般質問、議案質疑)
- 13日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 14日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 15日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 18日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 22日(火) 予算決算委員会
- 27日(水) 本会議(閉会)

編集後記

「まいづる市議会だより」を、お読みいただきありがとうございます。

さて、昨年11月18日に舞鶴市議会議員一般選挙が行われ、近年最多の34名が立候補し、選挙の結果26名の議員が選出されました。

また、常任委員会も、「総務消防委員会」「産業建設委員会」「福祉健康委員会」「市民文教委員会」に再編してスタートし、今年、舞鶴市の8年先までの指針を決める「第7次舞鶴市総合計画」の策定の年に当たり審議を重ねております。



【議会報編集部会】

- 部会長 谷川 眞司
- 副部会長 眞下 隆史
- 委員 伊田 悦子
- 委員 肝付 隆治
- 委員 小谷 繁雄

議会だよりは、各議員の活動内容や議会での質問・審議内容をお知らせするのに大変重要な役割であると認識しております。議会報編集部会では、5名で編集作業に取り組み、市民の皆さまに分かりやすく読みやすい紙面構成に努めてまいります。

この一年間よろしくお願いいたします。

(谷川 眞司 部会長)